

区役所への都バス乗り入れでアクセス改善を 和泉都議と区議団が都交通局に要望

「区役所にいくのに、交通が不便」という声をよく聞きます。

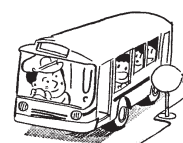
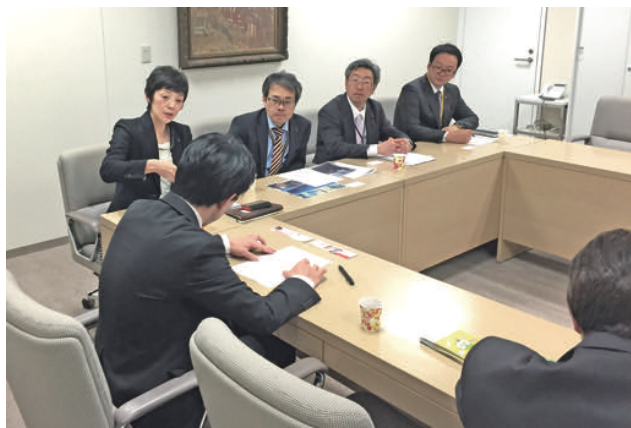
現在、区役所へのバスの乗り入れは、京成バス「新小53（亀有〜新小岩）」と、タウンバス「有57（亀有〜お花茶屋〜タウン車庫）」の主にこの二路線しかありません。

かつてあった四ツ木まわりや金町路線はなくなっています（金町行は平日二便だけありますが、十分ではありません）。

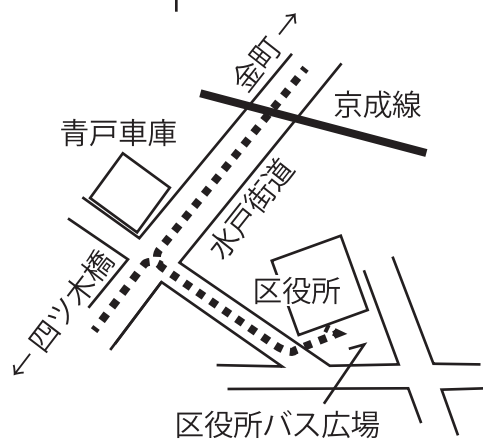
現在、往復あわせて約200便が運行

要望書は、金町〜浅草寿町（一部、上野松坂屋前行）の「草39」と青戸車庫〜錦糸町「錦37」の二路線を葛飾区役所のバス広場へアクセスしてほしいというものです。金町〜区役所はこれで解決できません。

現在「草39」は往復あわせて九十六便、「錦37」も一〇二便が運行しています。そのうち半分がう回したとしても一〇〇本のバス便を確保できる計算です。



そこで和泉なおみ都議と葛飾区議団は四月十二日、水戸街道を通る都バスが、青戸車庫前から区役所をう回するよう、都の交通局に要望書を提出しました。



都は住民の足を守る役割を果たせ

和泉都議は、今回の申し入れにあたって、次のように語っています。

「バス路線は、住民の通院や買い物、通学に欠かせないものです。それが、年々、減っているのは、高齢化社会にむかって深刻な問題と言わなければなりません。

マイカーの普及や交通渋滞による定時運転確保の困難などによる乗客減で、民間事業者の営業が不振になっていることも事実で、補助の充実も必要です。

同時に、民間事業者まかせにすることなく、住みよい東京をつくる上で、東京都がもつと積極的役割を果たすことが求められます。」

世界一貧しい大統領の宝石のような言葉

和泉なおみ

「世界一貧しい大統領」といわれたウルグアイの元大統領ホセ・ムヒカ氏が来日し、話題になりました。友人から十八万円で譲ってもらったフォルクスワーゲンの中古車に乗り、移動の飛行機はエコノミークラス、報酬の九割を寄付していたというムヒカさん。私の心を、宝石のように明るく照らしたその言葉を、ご紹介します。

「貧乏とは、多くのものを必要

だと思ってしまう欲のことをいうのです」

「人生で最も重要なことは、勝つことではありません。歩き続けることです。それは、つまり転んでも毎回起き上がること、新たに何かを始める勇氣を持つということ、何かに打ちのめされたときにまた立ち上がるということです」

「何か魔法のようなものが社会

を変えてくれると思わないでください。あなたと同じ志を持つ仲間をみつけて、闘ってください」

「他人に勝つために戦うのではなく、自分自身の心の中にあるもののために戦うのです」

数々の暴言失言を繰り返しながら、利権にしがみついて、自分の保身に走る政治家たちやタククスヘイブンの国々で税金逃れをする大金持ちに聞かせたい言葉です。



都知事の経費は、都民の税金 問われる舛添知事の金銭感覚

舛添都知事の海外出張費が批判を浴びている中、今度は公用車を使つてほぼ毎週末に湯河原の別荘に行っていることも分かりました。日本共産党都議団は、四月七日

の経費削減などの改善提案に引き続き、四月二十七日には、公用車利用の全容を明らかにしそのルールを確立することなどを知事に申し入れました。

二年間に八回、

総額二億円以上も

舛添都知事が就任以降に行った海外出張は八回で総費用は二億一、三〇〇万円に上っています。一回当たりの平均額は二、六六三万円、豪華海外視察が批判された石原元知事と比較しても約一千万円上回っていることが分かりました。

二〇人の大所帯で

六、九〇〇万円

突出しているのは二〇一四年十月のロンドン・ベルリンと二〇一五年十月のパリ・ロンドンの視察です。どちらも二〇人もの大所帯で二〇一四年には約七千万円、二〇一五年には五千万円も使っています。知事は一泊十九万円のスイートを

含め、全二十二泊のうち十一泊で十五万円を超えていることもわかりました。

さらに一六五万円を払って空港の貴賓室を借上げたり、飛行機は往復二六六万円のファーストクラスなど、税金の使い方としての適性が問われる実態に都民の批判が広がっています。

公用車を使つて

毎週湯河原へ

さらに、この一年間で四八回、ほぼ毎週湯河原の別荘に通っていることも明らかになりました。しかも「東京だろうと湯河原だろうと知事の仕事をしている」と聞き直つています。湯河原でなければできない知事の仕事があるとは思えません。どんなに正当化しようと、税金である以上、都民の理解は得られません。大事な都民の税金に対する知事のがんが、厳しく問われます。

「トップが一流ホテルに泊まれますか？」

聞き直る舛添知事

今年度の予算でも海外視察費用は三億三、五〇〇万円が計上されています。都民のくらしが厳しさを増しているときに、自分はファーストクラスの飛行機やスイートルームを利用する海外視察を繰り返すことは、許されません。ところが、

このことを質問した記者に対し「トップが一流のビジネスホテルに泊まりますか？はずかしいでしょ」と強い口調で反論しました。自らを現場主義と称しながら、都民のくらしの現場をあまりにも知らないと言わざるを得ません。



「ドーチェスター-ロンドン」のスイートルーム
(ホームページより転載)



記者会見で質問に答える舛添都知事



相談活動をする和泉なおみ都議

日本共産党都議会議員・和泉なおみの

生活・年金・法律相談

6月8日(水)午後2時より
於・和泉なおみ事務所

事前にお電話ください

毎月第二水曜日に、東部法律事務所の方士さんのご協力をいただきまして、「生活・年金・法律相談会」を開催いたします。



「なんでも相談会」 に参加しました

四月二十一日(木)、亀有リリオパークで葛飾社保協など区内民主団体の「なんでも相談会」が行われ、和泉都議も参加しました。